



運動遊びを広げる工夫や地域の取組

カードなどを活用した 運動遊びを広げる工夫

どんな工夫?

運動遊びを広げる工夫や地域の取組

プレイカード



●保育者の知恵や経験を共有できる
プレイカードで、保育者の指導力が向上

研究会で蓄積された、幼児期に身に付けたい動きを踏まえた遊びの実例を集めたポケットサイズのカードです。子供たちから生まれた遊びのバリエーションや意欲を引き出すコツがまとめられていて、保育者は思い立った時にすぐに確認できます。保育者たちの知恵や経験から生まれた実績を見える形で共有することは、保育者の指導力の向上につながります。

げんきもりもりボックス



●「げんきもりもりボックス」を作る

子供が考えた遊びをカードにかきとめて、日々の遊びの中で活用します。日頃、自分からはしない動きも取り入れて、多様な動きができるようにします。子供たちの創造性を引き出し、友達のを認める気持ちが育ちます。遊びをかいたカードは「げんきもりもりボックス」に入れて、いつでも活用できるようにしましょう。

●引いたカードにかいてある動きに挑戦

子供は、引いたカードにかいている動きを行います。自分では普段使う機会の少ない遊具を使うことや、苦手を遊びを経験することにもなります。「～できるかな」「すごい、できたね」など、声かけをすることで、子供たちの挑戦しようとする気持ちをかき立てましょう。

げんきくんボード



●強くなった身体部位を子供たちが意識する

「げんきくんボード」は人型のボードです。子供たちは、遊んで身体部位が強くなったと思うごとにシールを貼っていきます。子供自らが遊びを振り返り、様々な遊びに挑戦する意欲を養うことを狙っています。経験したことを自分で意識することで、達成感を味わったり思考力を育てたりする機会にもなります。ボードにシールを貼るほか、ノートに記録して家に持ち帰り、保護者からも子供に「よくがんばったね」といった声かけをしてもらい、有能感を育てることにもつながっています。

カードなどを運動遊びに活用するポイント

アイデアが見える形にしてやる気を引き出す

子供たちの心と体がバランス良く発達するには、一定の遊びに偏らず様々な遊びの中で多様な動きの経験が必要です。苦手を動きや未経験の動きにわくわくしながら取り組めるような工夫を心掛けましょう。子供たちは遊びを生み出す天才です。子供たちの発想や好奇心をうまく取り入れて、保育者と子供たちが一緒に遊びを広げていくために絵や文字でカードにして、いつでも活用できるような方法を考えてみましょう。